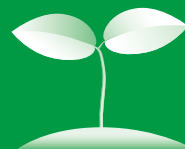


育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「メディアアカウントルールとともに」

「どうせ私なんか…」
「え、無理。」

以前、このような自己肯定感の低いことを子どもたちから聴くことがしばしばありました。そこで、町内の養護教諭の先生へ相談を持ちかけたところ、次のようなアドバイスをいただきました。

「あなたを信じて厳しいことも言ってくれる人や、できるまで待ってくれる人、失敗してもがんばったことを分かってくれてくれる人がいるんだよと、その子へ伝えてあげたらどうか。」

このお話を聞いて、身近な人と一緒に家事をしたり遊んだりして様々な経験をたくさんすることが、自己肯定感を高めるためにそれほど大切かということが再確認できたことをよく覚えています。

今や、メディアを活用して調べ学習をすることが家庭だけでなく学校でも当たり前になりつつある社会環境の中で、子どもたち自身に身につけてもらいたいのは「メディアをコントロールする力」です。

本校でも、中学校の定期テスト期間に合わせて毎学期、メディアコントロール週間を行っています。効果的な取り組みをするために一番大切なことは、学校が「してください」ではなく、保護者の方とともに考え、家庭の状況に合わせて進めていくことだと思います。そこで、メディアコントロール週間の内容や方法をPTAの専門部に企画・提案してもらうようシフトチェンジしました。

進める中で大切にしたいことは、各家庭で決まった「わが家ルール」を目標にするこ

とです。

各家庭のきまりは様々ですが、子どもたちはそれらを自ら守ろうとしてがんばることができています。

取り組みが終わって子どもたちの感想を見ると、「お母さんとお兄ちゃんとかードゲームをして楽しかったし、家のお手伝いがたくさんできてよかったし、家のお手伝いもできてよかったです。」

「メディアアカウントルールで上手な時間の使い方ができました。」などの感想がありました。メディアアカウントで家族や身近な人と関わる時間が増えたことがわかり、とても嬉しく思いました。普段の生活の中で、各家庭で「わが家ルール」を意識して過ごすことで、身近な人と関わる時間が増え、繋がりが深まることを願っています。

富小学校は今年度末をもって閉校を迎えます。豊かな自然と温かい地域の方々に恵まれながら、どの活動にも一生懸命がんばる富の子。自分のことも大切に、そして友だちの良いところをたくさん見つけて伝えることができる富の子が大好きです。いつまでも応援したいです。

奥津中学校を始まりに、鏡野町の子どもたちと過ごして九年目を迎えました。今まで出会い支えてくださった全ての方へ感謝の気持ちを持ち続け、これからも子どもたちの健やかな成長を支援するために、微力ながら尽力していこうと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

富小学校 山本 麻起子

のびのびひろば

並ぶ時に
「お先にどうぞ!」
って言ってくれた♡

やさしい気持ちで 笑顔いっぱい♪

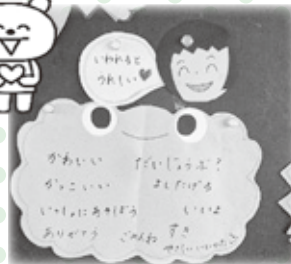
香南保育園4・5歳児クラスでは、目標を「ふわふわ言葉で優しい気持ちを伝えよう」として、日頃からふわふわ言葉やちくちく言葉について子どもたちと考えています。友だちのいいところや優しいところ、してもらって嬉しかったことなどを見つけようと思いやりの木を子どもたちが描きました。思いやりの花がたくさん咲くように、子ども一人一人の思いを大切にしながら、丁寧に関わっていきたいと思います。



部屋走っちゃったけど
やさしく教えてくれた
けんうれしかった♡



木にいっぱい
花が咲いたらもう
1本作りたい♪



「ふわふわ言葉」
相手の心を優しく包み、
温かく幸せな気持ちになり、
思わず笑顔になるような言葉。



「ちくちく言葉」
相手の心をちくちくさすような、
嫌な気持ち、悲しい気持ちに
させるような言葉。



クラスで見ている
絵本です
(香南保育園)